

1

月号

ひだまり

わかくさこども園



2024.1.4



あしゆやさん (2023.12.25)

幼児さんたちが開いてくれた、足湯屋さん。ゆずの香りが、いい匂い。

寒い冬は、やっぱり足湯だね。

「あしゆやさんのちけっとは、こちらで一す」



1月の予定

【幼稚園・午前保育】

10日(水)

10日(水) 始業日

15日(月) 希望者個人面談(～26日)

18日(木) 避難訓練

なんでもない日の、子どもたちのこと

わかくさの今とこれから。子どもたちのことを思いつくまに。

園長 習田 和正



今年もよろしくお願ひします



新年、あけましておめでとうございます。年末年始、いかがお過ごしでしたでしょうか。家族でまったり、あるいは旅行や帰省と、一年の始まりを前にリフレッシュされた方も多いかと思います。かくいう私も、故郷・広島へ孫の顔を見せに行くという親孝行をしっかり果たしてまいりました。笑

12月、園でクリスマス会を行いました。今年のテーマは、「音楽を楽しむ」こと。子どもたちに向けて、コンサートを企画しようと先生たちと話をしていたのですが、子どもたちからも、クリスマス会で好きな曲をみんなの前で歌いたいという意見が出たので、「みんなでつくるコンサート」にすることになりました。

会の最初を飾ったのは、みそらさん。友だちや先生たちが大勢見ている前で、堂々と歌を披露しました。最後に歌った「サンタは今ごろ」は、ふじとももはなさんも朝の会で歌っていた人気の曲。振り付けを楽しみながら、みんなで合唱できました。

このあとは、ギター、ベース、ドラムの生演奏で、クリスマス曲や、ドラえものの曲を歌って楽しみました。初めて楽器の音に触れる子は、音にびっくりしてしまうかなとも思っていたのですが、意外によーく演奏

を見ていて、楽器から目を離さない子もいるほどでした。

コンサート終了後、楽器にさわる時間をつくったのですが、楽器への疑問や気づきが次々と出てくる子どもたち。

「ギターに穴があいているのはなんで？」
「ベースには穴がないよ」



「ドラムはたくさん叩くところがあるけど、ぜんぶ音が違うね」

子どもたちの「やりたい・知りたい」をどう引き出し深めるか。日々、保育の中で試行錯誤していることですが、「本物」が子どもたちに与えるきっかけの大きさを改めて感じたクリスマス会にもなりました。

ちなみに、うしろの方で観客として参加してくれていた乳児さんたちも、ノリノリ



成長のあかし



「せんせい、どろだんごつくったよ！ほら！」
嬉しそうに駆け寄ってくる、みそらのAくん。
「わあ、すてきなだんごだね」
そう言うと、「うん！」と照れ笑いした。

しばらくして、「あー！やめてー！」という、大きな声が聞こえた。目を向けると、近くにいるこむぎのBちゃんが、Aくんの泥団子を投げようとしている。「Bちゃん！」と声を出して駆け寄るも間に合わず。壊れてしまった泥団子を前に、Aくんはポロポロと涙をこぼした。

「何で投げたの？お兄ちゃん泣いてるよ」
怒られると思ったのか、目をそらすBちゃん。
「Aくん、怒ってもいいよ」
そう言うと、Aくんは「もういい！」と、残った団子も自分から地面に投げつけた。

「お兄ちゃん、お団子投げたの嫌だったって。一緒にごめんねしよう」「ごめんね」とBちゃん。
「一緒にもう一回作ろう？」とAくんに言うも、
「いい。だってすぐつくれないし」と首を振り、Aくんはあっちに行ってしまった。

翌日、遊んでいたAくんに声をかける。
「昨日はごめんね。お団子壊れちゃって」
「もういいよ。だってこわれるものだから」
そう言って、Aくんは走って行った。

これは、当時園庭にいた先生の保育記録。
その先生は、間に入った自分が2人にかけて
言葉や関わり方がどうだったかを振り返りな

がら、普段あまり接点のない自分に自慢してくるほど、Aくんにとっては大事な泥団子だったことを話してくれました。

集団での生活、特に、園庭などで異年齢間の関わりが日常的にある私たちの園では、ありがちな出来事です。自我（自分の思いを一方的に通そうとする）が芽生え始める1歳と年長の間を、どんな関わりでつないでいくかは、正解はないので、悩む場面です。

それよりも私が嬉しかったのは、Aくんのこと。たぶん、Aくんをよく知る先生であれば共感してくれると思いますが、Aくんも自分の思いを通そうとするあまり、周囲に当たる時期もありました。それが今、大切なものを壊されても感情を立て直し、こんなにも“大人の対応”ができるようになったのは、Aくんの成長のあかしです。（その先生は翌日声をかけた時のAくんの対応を『神対応』と言って感動していました。笑）

後日談ですが、泥団子が壊れた時、落ち込むAくんを心配し、励ましの声をかけてくれた友だちも、周りにたくさんいたそうです。

いよいよ、最終学期が始まりますね。互いを思いやれる仲間たちと一緒に、思い出をたくさん作って、もうひと伸び大きく成長してくれることと思っています。



わかかさこども園

wakakusa kodomoen